

製品名: CHUK マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80891**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|---|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | WB,ELISA |
| 反応性 | 人間 |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | Mouse IgG1 |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--------------------------------------|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量 | 85kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | CHUK |
| 別名 | IKK1; IKKA; IKBKA; TCF16; NFKBIKA; IKK-alpha; CHUK |
| 遺伝子 ID | 1147.0 |
| SwissProt ID | O15111 |
| 免疫原 | 大腸菌で発現したヒト CHUK の精製された組み換え断片。 |

背景

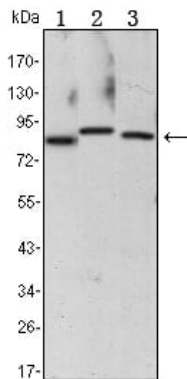
この遺伝子は、セリン/スレオニンプロテインキナーゼファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は、必須転写因子 NF- κ B 複合体の阻害因子であるサイトカイン活性化タンパク質複合体の構成要素であり、ユビキチン化経路を介して阻

害因子の分解を誘導する部位をリン酸化することで、転写因子を活性化します。

研究分野

PI3K-Akt シグナル伝達経路、MAPK シグナル伝達経路

画像データ



Raji (1)、Jurkat (2)、および THP-1 (3)細胞溶解物に対する CHUK マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。